

員をはじめ、広く町民の皆さまのご意見をお聞きし、少子高齢化の進行による成熟社会への対応や地域主権改革の進展に伴う住民自治の拡充、各地区集落の振興など抱える諸課題に対処していくためには、住民と行政が一緒に知恵を出し合い協働してまちづくりを取り組んでいく必要があります。共通課題と共有する目標に具体的な政策を含めた総合的な計画として、これからの10年間のまちづくりの指針となる、第5次総合計画の策定に取り組んでいるところであります。



第5次総合計画審議会の様子

多くの先人たちが幾多の苦難を乗り越え、積雪寒冷の厳しい自然条件とたたかいながら、未開の大地を切り開き、多くの人たちに受け継がれながら今日の南富良野町があります。

郷土南富良野町の歴史と発展の礎を築かれた先人の努力に学び、町議会や町民皆様とともに英知を結集しながら、現在直面している難局に立ち向かい、この先の将来を見据えたまちづくりを進めるため、全力を尽くしますので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

先にも申し上げましたとおり、本年度は町長改選期であります。しかしながら、行政の中断は一日たりともゆるがせにすることは許されることではありません。

このたびの町民皆様の厳粛な審判を仰ぐという意義あるときに当たり、行政運営の基本となる最小限必要な経費を中心とした骨格予算案の編成を本旨とし、更に町内における諸事情を考慮しながら、本年度の予算編成に当たったところであります。

第4次総合計画の推進

平成24年度は、南富良野町第4次総合計画の最終年度であります。同計画に掲げた「まほらの南富良野 瑞々しい自然、誇れる大地、ひとのびのび、みなみふらの」を推進する本年度の主要事業を申し上げます。

うつくしの南富良野 瑞々しい自然のまちづくり

はじめに、自然環境や景観の保全、自然の活用を目指す、うつくしの南富良野―瑞々しい自然のまちづくりであります。

自然環境の保全

本町は、広大な森林と清らかな水など優れた自然環境に恵まれた地域であります。この豊かな自然環境は、町民生活の基盤であり、人の心を癒し、潤いを与えてくれる町民全体の貴重な財産であることから私たちの責務として、この貴重な財産を損なうことなく、次世代に引き継いでいか



フォレストタウン記念植樹祭の参加者

なければなりません。

本年度も、フォレストタウン記念植樹祭、北海道日本ハム球団現役プロ野球選手を招いてのアオダモ記念植樹や野球教室、滝川市ポランティアグループとの水源の森創造交流会を開催するとともに、「山川草木を育てる集い」南富良野協会の皆さんにより「エンジンバラ公の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全に努めてまいります。

また、本町の優れた自然環境の象徴的存在である、かなやま湖に生息するイトウを、町民共有の財産として次世代に継承することを目的に、「南富良野町イトウ保護管理



環境教育授業の様子（幾寅小学校）



条例」を平成21年4月に制定いたしました。本年度も引き続き適正な管理に努め、イトウの個体数の保護と町内小中高等学校児童生徒へのイトウを通じた環境教育の更なる充実のため、所要の予算を計上いたしました。

にぎわいの南富良野 誇れる産業のまちづくり

次に、農業・林業・商工鉱業・労働など、個性と工夫にあふれる地域産業を目指す、にぎわいの南富良野―誇れる産業のまちづくりであります。

農業振興

はじめに農業の振興であります。国は現在「新たな食料・農業・農村基本計画」の中で食料自給率50%達成の目標を掲げています。

しかし、農産物価格の低迷、担い手の高齢化や後継者不足、生産資材の高騰など、農業を取り巻く環境は悪化しており、さらに政府は環太平洋パートナーシップ協定（TPP）交渉参加へ向かうなど、農業の先行きは不透明さを増しています。

平成24年度の農業振興施策につきましても、農業者からの要望や農業委員会の建議も踏まえ、本町の「農業経営基盤強化促進基本構想」に掲げる安定した農業経営の推進を図るべく、農業協同組合や農業団体、関係機関とより一層の連携を強めてまいります。特定中山間保全整備事業は、



特定中山間保全整備事業 鳥獣害防止柵（北落地区）

平成24年度をもつて事業完了となり、道営中山間地域総合整備事業につきましても、平成24年度において、当初計画にある面整備を全て完了させる予定でありまして、鹿柵も2年程度で完成できるように努力させていただきたいと考え



道営中山間地域総合整備事業 除れき作業（金山地区）

ているところであります。

また、小果樹園の樹種試験を引き続き行うなど、事業の推進と体制の確保を図ってまいります。

中山間地域等直接支払交付金事業につきましても、遊休農地発生防止や地域農業の維持向上を図るべく、引き続き取り組んでまいります。

農地・水保全管理支払交付金事業につきましても、平成24年度より2期目の対策に入りますが、現在取り組んでいます。幾寅、北落合地区に加え、金山・下金山地区についても制度導入を行い、地域の共同活動を通じて農地や用水施設、排水路など地域資源の保全管理に努めてまいります。

農家所得の安定と生産意欲の向上を図るため、町と農業協同組合が協力し実施しております。「農業元気づくり事業」につきましても、新規作物導入事業を中心に取り組みますが、加えて近年の異常気象ともいえる天候により、収量が極端に低い場合もあることから、畑作物共済への加入を促進するための助成制度を実施してまいります。



富良野広域連合公共串内牧場入牧の様子

農家の経営環境は飼料の高騰や乳価の低迷など、依然として厳しい状況にあることから、串内牧場に乳肉用牛を預託する費用の一部助成を行い、畜産農家の負担軽減を図るための事業を引き続き実施してまいります。

林業振興

次に林業の振興であります。森林には、国土の保全・水源のかん養及び自然環境の保全・形成など、木材生産等の機能だけでなく、地球温暖化防止対策の二酸化炭素吸収源として大きな役割を担い、多種多様な公益的機能が十分発揮できる森づくりが強く求められています。